

各位

上場会社名 日本電計株式会社
 代表者 代表取締役社長 原 潤一郎
 (コード番号 9908)
 問合せ先責任者 代表取締役専務 佐藤 信介
 (TEL 03-3251-5731)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成26年8月12日に公表した業績予想及び配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成27年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	33,400	650	700	400
今回修正予想(B)	34,332	1,066	1,184	659
増減額(B-A)	932	416	484	259
増減率(%)	2.8	64.0	69.1	64.8
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成26年3月期第2四半期)	31,696	641	755	435

平成27年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	74,500	1,750	1,800	1,100
今回修正予想(B)	75,500	2,200	2,300	1,400
増減額(B-A)	1,000	450	500	300
増減率(%)	1.3	25.7	27.8	27.3
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	72,749	1,921	2,165	1,237

修正の理由

個別では、自動車業界で国内の設備投資には慎重な姿勢が見られましたが、海外での設備投資が積極化しました。また、当社の主要ユーザーである電機業界では、スマートフォンやタブレット端末関連の電子部品メーカーの業績が好調となっております。電子計測器、電源機器、環境試験機器等の業界や環境・エネルギー関連業界でも底堅い研究開発が進められております。このような状況のもと、国内・海外の幅広い営業拠点網を活用して、自動車関連市場、スマートフォン関連市場、環境・エネルギー関連市場を中心に積極的なソリューション営業活動を展開いたしました。その結果、売上高は320億6300万円(前年同期比31億8500万円、前年対比で11.0%増)となりました。粗利益率も当初計画を0.1%上回る水準を確保することができました。経常利益は、9月に急激に円安方向へ振れたことから、当初計画で見込んでいなかった為替差益が122百万円ほど発生いたしました。

連結では、国内では、スマートフォンの検査装置を受注したアイコーエンジニアリング株式会社が大幅な増収増益になったことに加え、海外では、中国、タイの販売子会社の業績も堅調に推移いたしました。その結果、営業利益・経常利益・当期純利益ともに平成26年8月12日に発表いたしました業績予想を大幅に上回る見込みであります。

なお、通期業績予想につきましても、下半期の景気動向や為替動向に不透明感がありますが、下期計画を達成できるものと見込んで、第2四半期増加分を加算する上方修正を行います。

● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成26年8月12日発表)	—	12.00	—	23.00	35.00
今回修正予想	—	13.00	—	23.00	36.00
当期実績	—	—	—	—	—
前期実績 (平成26年3月期)	—	12.00	—	23.00	35.00

修正の理由

配当金につきましては、業績、財務状況等を総合的に勘案して、継続かつ安定的な配当を行うことを基本方針としております。前述のとおり、上半期の業績は、計画を上回る実績を上げられました。下半期の業績については景気動向や為替動向に不透明感があるものの、計画通りに推移すれば、通期連結業績が前回の発表を上回る見通しとなりますので、中間配当を1株当たり1円増配し、13円とさせていただきます。従いまして、当期の年間配当は、中間配当13円、期末配当23円の年間36円になる見込みであります。引き続き、計画した当期純利益の確保に向けて、グループの総力を結集してまいり所存であります。

以上